

天理市学童保育新型コロナウイルス感染症対策マニュアル

(令和3年5月)

I、目的

学童保育を利用されている家庭においては基本的に保護者が働いておられ、家で一人であることが難しい児童が利用するものであることから、原則として開所を基本とし、その家族の生活を継続する上で欠かせないものである。そのような観点から十分な感染防止対策を前提に保育を行うものとします。

万一このような事態が発生した際には早急かつ適切な対応を心がけて、円滑な事業継続を図れるよう作成しました。

II、基本方針

1、「持ち込まない対策」の徹底

- ・症状のある児童が利用することがないように、それぞれの家庭が心掛けて下さい。
毎朝検温と症状確認を各家庭で行い、もし発熱や咳などの症状がある場合は慎重に各家庭でご判断してください。子供の健康状態を丁寧に把握するよう協力をお願い致します。
- ・職員及び来訪者の健康管理や健康観察を徹底し感染経路を遮断することに努めます。

2、「早期発見・感染拡大防止対策」の徹底

- ・発熱者等の状況を把握し、感染の兆候をいち早く察知し、更なる感染拡大を防ぐよう努めます。

III、感染拡大防止対策

予防対策の周知徹底

① 毎朝の検温と健康チェックをしっかりと行う

- ・感染症予防のための健康観察表を記入する

資料1

☆37.5度以上の発熱や下記の症状がある場合は受診する

新型コロナウイルス感染症を疑う主な症状

- 発熱 ■下痢 ■嘔気や嘔吐 ■息苦しさ ■風邪症状（咽頭痛、鼻水、咳、痰）
- 筋肉痛 ■味覚障害 ■臭覚障害 ■全身倦怠感 など

②手洗い、消毒の徹底

- ・手洗いなし → 残在ウイルス約100万個
- ・石鹸やハンドソープで10秒もみ洗い後
流水で15秒すすぐ1回 → 残在ウイルス約0.01%（数百個）
- ・石鹸やハンドソープで10秒もみ洗い後
流水で15秒すすぐ2回 → 残在ウイルス約0.0001%（数個）

☆手洗いを丁寧に行うことで十分にウイルスを除去することができます。

《手洗いのタイミング》

- ・学童に入る時・食事やおやつを食べる前は原則・手が汚れた時適宜・排泄後
- ・目、鼻、口に触る前と触った後・共有物品に触る前と触った後 など
- ・食器、手すり、ドアノブ、パソコン（キーボードやマウス）、電話機、筆記台やボールペンなど身近な物の消毒には、アルコールよりも熱水や塩素系漂白剤が有効
- ・熱水 80℃・・・10 分間浸す
- ・塩素系漂白剤を 0.05%に薄め、手袋を着用してヒタヒタに濡らした後 20 秒おいてきれいな布やペーパータオルで拭き取る
(ハイター、ブリーチなど他の薬品と混ぜないように注意・濃度が低下しやすいため冷暗所に保管し早めに使い切る)
- ・共用物に触る前後は手指消毒を、やむを得ず共用するものは洗浄や消毒を、確実にを行う（共用しがちなものは各自で準備する・・・コップなど）
- ・界面活性剤での洗浄も効果的（アルコールや次亜塩素酸水が使用できない素材の物は界面活性剤でこまめに洗浄する）

③ソーシャルディスタンス

- ・人と人の距離をできるだけ 2m、最低 1m以上あける
- ・会話する際はマスクを着用し、可能な限り真正面を避ける
- ・飲食時などを除き原則としてマスクを着用するように指導する（布マスクより不織布やサージカルマスクの方がフィルターが目細かいので望ましい
(夏場のマスク着用時は熱中症に注意)
- ・互い違いに一方向で座る／並ぶ
- ・大声を避ける
- ・アクリル板などの利用設置
- ・電話やオンラインツールを使用する

④十分な換気を行う

- ・最低一人あたり 30 m³/h の換気量を確保
(例 縦 3 m×横 5m×高さ 2m、お風呂の水 200ℓ 0.2 m³とすると約 150 杯)
- ・時間を決めて定期的に二方向の窓やドアを開けて換気を行う (30 分毎)
- ・扇風機やサーキュレーターを使用する場合は首振りなどをさせず、開けた窓やドアに向けて一方向に固定して作動させる (空気の流れを作るため)
- ・加湿よりしっかり換気 (湿度の高い空間での感染が多いとの指摘あり)
理想的な湿度 40～60%、冬は空気が乾燥するため加湿が必要

⑤3密を避ける工夫

- ・広く換気の良い部屋を利用する
- ・人数制限を行う
- ・食事場所や休憩場所を複数用意する
- ・室内で激しい遊びは避ける

新型コロナウイルスの感染に関しては屋内の閉鎖された空間で大声を出したり、激しい呼吸をすることによりエアロゾルと言ってウイルスを含む小さな飛沫を発生させた可能性が指摘されている。激しく体を動かすような遊びはできるだけ屋外で行う

エアロゾル→飛沫感染と空気感染の中間的な存在

IV、新型コロナウイルス感染症の疑いのある児童及び職員が発生した場合の対応

1、報告、相談先、受診医療機関の体制の確認・整備

- ・児童及び職員に新型コロナウイルス感染症を疑う症状がある場合は速やかに法人事務局に報告する
- ・主任指導員へ 対応にあたり確認並びにお願い 資料2参照

2、感染者発生 の把握と情報共有・関係機関との連携

- ・法人事務局、保護者、学校、所管課、保健所
- ・コロナウイルス感染状況等の聞き取りについて 資料3参照
- ・万一の事態に備え、日頃より座席の位置などをメモや画像で記録しておく

3、濃厚接触者の自宅待機（14日間）と必要に応じたPCR検査の受検

- ・自粛について（目安） 資料4参照

4、施設の対応、消毒の実施

- ・保健所の指示に従う

5、いかなる場合も個人情報の有用性に配慮しつつ、個人の権利利益を保護し慎重に取り扱う

〈職員が新型コロナウイルス感染症の場合の濃厚接触者の判断基準例〉

- マスクあり→ 陽性職員あり、接触者マスクあり→判定・・非濃厚接触者
- マスクあり→ 陽性職員あり、接触者マスクなし→判定・・濃厚接触者
- マスクなし→ 陽性職員あり、接触者マスクあり→判定・・濃厚接触者
- マスクなし→ 陽性職員あり、接触者マスクなし→判定・・濃厚接触者

（1）15分以上を濃厚接触者の目安とする

（2）陽性職員が有症状の場合は15分以下の接触でも濃厚接触と考える場合がある

（3）頻度が多く触った物品の共有がある場合は濃厚接触と考える場合がある

最後に今回のコロナショックは落ち着くまで相当な時間を要することが予想されます。私たちの生活が落ち着くまではもう少し時間を要します。私たち一人一人が行動に危機感を共有しながら、ブロック会議などで周知徹底をお願い致します。

参考文献

厚生労働省、経済産業省資料より抜粋

高山義浩医師 学童における新型コロナウイルス感染症予防について参照

元厚生労働省勤務 沖縄県立中部病院 感染症内科 地域ケア科副部長

奈良県福祉医療課 感染症対策マニュアル参照

資料 1

感染症予防のための健康観察表

新型コロナウイルス感染症の感染予防と感染拡大防止のため、指導員の健康観察を実施します。

必要事項を記入し、出勤後、学童に提出をお願いいたします。

(平熱 ℃)

学童

氏名

*朝の体温を記入し、該当する所に○をつけてください。ありに○が付いた場合は主任へ相談ください。

| 4月分 | | 朝の体温 | せき | のどの痛み | 鼻水・鼻づまり | だるさ | 息苦しさ | その他の 症状 | 印 | 主任印 |
|-----|---|------|-------|-------|---------|-------|-------|------------|---|-----|
| 1日 | 木 | ℃ | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | | | |
| 2日 | 金 | ℃ | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | | | |
| 3日 | 土 | ℃ | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | | | |
| 4日 | 日 | ℃ | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | | | |
| 5日 | 月 | ℃ | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | | | |
| 6日 | 火 | ℃ | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | | | |
| 7日 | 水 | ℃ | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | | | |
| 8日 | 木 | ℃ | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | | | |
| 9日 | 金 | ℃ | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | | | |
| 10日 | 土 | ℃ | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | | | |
| 11日 | 日 | ℃ | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | | | |
| 12日 | 月 | ℃ | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | | | |
| 13日 | 火 | ℃ | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | | | |
| 14日 | 水 | ℃ | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | | | |
| 15日 | 木 | ℃ | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | | | |
| 16日 | 金 | ℃ | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | | | |
| 17日 | 土 | ℃ | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | | | |
| 18日 | 日 | ℃ | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | | | |
| 19日 | 月 | ℃ | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | | | |
| 20日 | 火 | ℃ | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | | | |
| 21日 | 水 | ℃ | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | | | |
| 22日 | 木 | ℃ | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | | | |
| 23日 | 金 | ℃ | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | | | |
| 24日 | 土 | ℃ | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | | | |
| 25日 | 日 | ℃ | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | | | |
| 26日 | 月 | ℃ | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | | | |
| 27日 | 火 | ℃ | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | | | |
| 28日 | 水 | ℃ | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | | | |
| 29日 | 木 | ℃ | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | | | |
| 30日 | 金 | ℃ | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | | | |
| 31日 | | ℃ | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | あり・なし | | | |

ご家族にも気になる症状がある場合は、主任へ相談ください。

確認のお願い

全国におきまして感染者の拡大が続く中、誰もが感染者、濃厚接触者になる可能性があります、できるだけ予防に努めていただくようお願いいたします。

指導員の皆様におかれましても、以下のことに十分注意いただくよう再度お願いいたします。

記

- 1、児童、本人の体調がすぐれない時や、家族で発熱などの症状がある時は登所、勤務を控え主任へ連絡し指示を仰ぐこと⇒医療機関へ連絡を取り指示を受け受診をするようにする⇒結果が出るまでは休み 登所、出勤するときは、登所願、出勤願いを念のため提出(強制ではない) 別添
 - 2、A 本人が濃厚接触者の対象となった時は、PCRの結果が出るまで⇒閉所
※陽性⇒開所の有無は市の指示に従う⇒本人は10日間療養
※陰性⇒開所⇒本人は保健所の指示に従い14日間自宅で健康観察
B 家族が濃厚接触者の対象となった時は、家族のPCRの結果が出るまで
⇒自宅待機⇒家族が陽性⇒本人のPCR結果が出るまで⇒閉所
※本人の陽性⇒開所の有無は市の指示に従う⇒本人は10日間療養
※陰性⇒開所⇒本人は保健所の指示に従い14日間自宅で健康観察
- ☆☆個人情報になりますので慎重に取り扱います また、不確かな噂が流れるような発言には充分注意くださるようお願いいたします)
- 3、微熱、発熱などの症状がある時は、近隣の医院へ連絡を取り指示を受けること
 - 4、睡眠、栄養を十分取り日々の体調を整え、職員間の体調管理に気を付ける
 - 5、手洗いの励行消毒の徹底を行う
 - 6、指導員の健康観察表の提出と体温チェックを行うこと
 - 7、気になることがあれば早めに事務局へ相談・連絡をすること

以上

コロナ感染状況等の聞き取りについて

①本人（児童、生徒）が陽性者の場合

☆最低限、聞き取りを行って欲しい事項

- ・陽性者の陽性判明日
- ・本人及び家族の症状（発症している場合いつからか、なぜ検査を受けたのか等）
- ・保健所の対応（担当の保健士の名前等、指示事項について詳しく）
- ・仲の良い友人等の学校での接触状況等

○学校・保育所または、所管課から報告して欲しい事項

- ・本人及び市内学校に通う兄弟の出席状況
※検査の手配が必要となるため、本人の出席時に接触があった人についてリストアップ（クラスメイトや教師等）
- ・学童保育の利用状況
- ・家族構成

②本人（児童、生徒）の家族が陽性者の場合

☆最低限、聞き取りを行って欲しい事項

- ・陽性者の陽性判明日（本人との接触状況等）
- ・本人及び家族の症状（発症している場合いつからか、なぜ家族が検査を受けたのか等）
- ・保健所の対応（本人が濃厚接触者に当たるかの有無、検査の日程、場所、担当の保健士の名前等）
- ・陽性者の情報（氏名、年齢等）

□任意で、聞き取りを行って欲しい事項（特に児童、生徒等、本人が接触しているため、保健所等とのやり取りの必要上、聞いておく必要がある）

- ・陽性者の情報（勤務先や感染に至る経緯等）

○学校・保育所または、所管課から報告して欲しい事項

- ・本人及び市内学校に通う兄弟の出席状況
- ・学童保育の利用状況
- ・家族構成

③本人（児童、生徒）またはその家族が陽性者と接触があった場合

☆最低限、聞き取りを行って欲しい事項

- ・陽性者との最終接触日と接触時の状況（マスク無しでの会話があったか等）
- ・陽性者の陽性判明日、報告があった日
- ・陽性者に接触した本人及び家族の症状（発症している場合いつからか）
- ・保健所の対応（本人が濃厚接触者に当たるかの有無、検査の日程、場所、担当の保健士の名前等）
- ・検査日程が決まっている場合、日時、場所、結果判明予定日について

□任意で、聞き取りを行って欲しい事項（特に児童、生徒等、本人が接触していた場合は、保健所等とのやり取りの必要上、聞いておく必要があると思われる）

- ・陽性者の情報（氏名、年齢、おおまかな住所・勤務先等）
- ・本人以外の家族が陽性者と接触があった場合、その家族の情報（氏名、年齢、勤務先等）

○学校・保育所または、所管課から報告して欲しい事項

- ・本人及び市内学校に通う兄弟の出席状況
- ・学童保育の利用状況
- ・家族構成（兄弟がいる場合は必ず記載）

④本人または家族が体調不良の場合（検査を受けるとの連絡も、これに準ずる）

☆最低限、聞き取りを行って欲しい事項

- ・本人または家族の発症日、症状等の経過
- ・その他の家族の症状
- ・検査の有無、検査を受ける場合は、日時、場所、結果判明予定日

□任意で、聞き取りを行って欲しい事項

- ・家族の勤務先等、感染に関する懸念事項
- ・保健所もしくは医師から言われた事項

○学校・保育所または、所管課から報告して欲しい事項

- ・本人及び市内学校に通う兄弟の出席状況
- ・学童保育の利用状況
- ・家族構成（兄弟がいる場合は必ず記載）

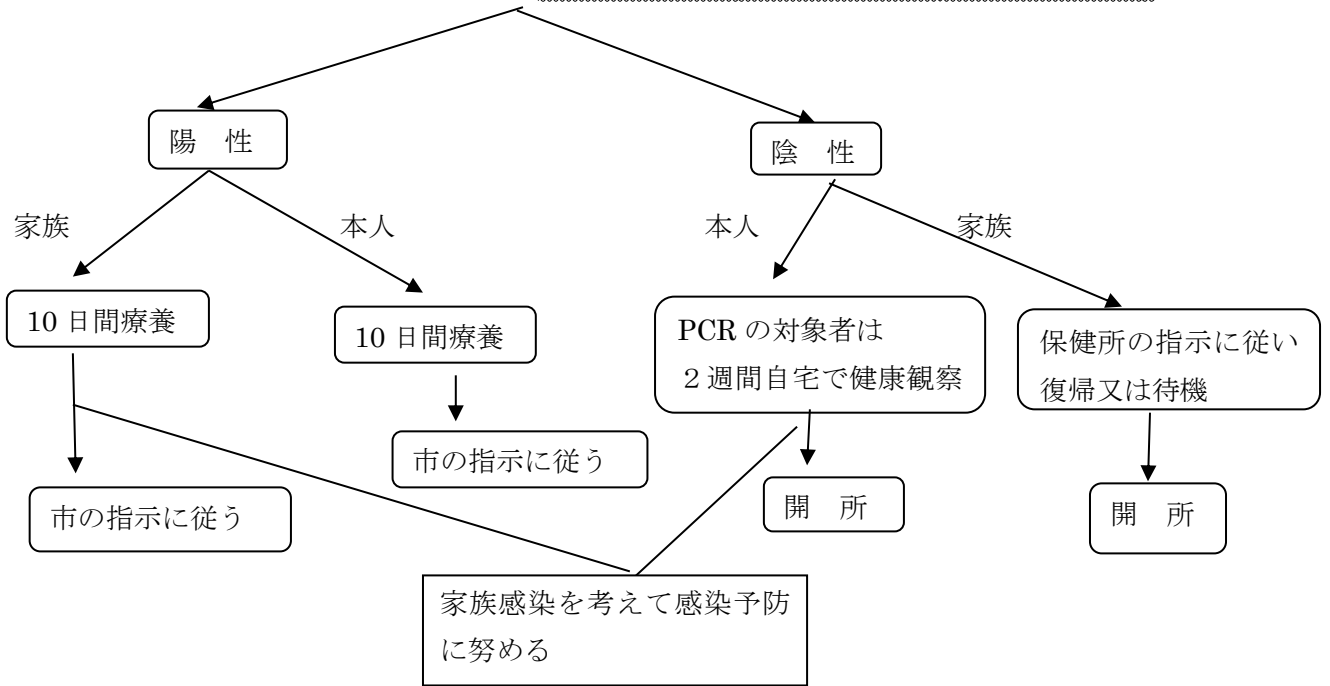
資料4 自粛について（目安）

① 児童・指導員本人又はその家族が濃厚接触者の対象となる前の自宅待機期間

➡できるだけ学童は休むようお願いをする（還付対象）

② 児童・指導員本人又はその家族が濃厚接触者の対象となった時

➡結果がでるまで学童は閉所になる場合があります（還付対象）



③ 児童・指導員本人又はその家族が念のためPCR検査を受ける場合（還付対象）

